



コミュニティバス 『あいバス』 の取り組み

NPO法人
地域交通まちづくり協会

地域の願いを叶えるため「あいバス」発車!

2006年5月13日に、新大阪 - 淡路コミュニティバス「あいバス」が運行を開始しました。この「あいバス」は、地域住民によって組織されたNPO法人地域交通まちづくり協会が事業主体となり、阪急バスに運行を委託しています。NPO法人によるコミュニティバスの運行は府内でも初めての取り組みであり、全国的に見ても珍しい事業といわれています。

「買い物や病院に行きやすく」「JR新大阪駅 - 阪急淡路駅間をもっと便利に」そんな地域の願いを叶えるため、地域住民によるバスルート・バス停検討のワークショップを実施するなど、様々な取り組みを通して、まさに地域が走らせる地域のためのバスとして運行が開始されました。



ひと・まち・ことをつなぐ!

NPO法人地域交通まちづくり協会は、「あいバス」の運行を通じて、ひと・まち・ことをつなぎあわせ、地域課題への解決に取り組み、誰もが暮らしやすい魅力あるまちづくりを行っています。

●ひとをつなぐ!

わたしたちの暮らす淡路・西淡路地域は、近年少子高齢化の進展、単独世帯の増加など人口・世帯構造が大きく変化しています。このことにより、近所づきあいや地域行事への参加などが減少してきており、地域コミュニティのつながりが希薄化しています。また、身近な問題（地域での日常生活上の課題など）に対して、自分たちの力で解決する意識が薄くなってきています。こうした状況のなか、多様なライフスタイルでも参加しやすいまちづくりの仕組みを構築することにより、様々なまちの課題に対する地域住民の気づきや実感を創出するとともに、身近な地域課題の解決に向けた取り組みを行い、これを契機として“ひと”をつなぎ、地域コミュニティの再生を図ります。

■緑の回廊プロジェクト



まちづくりアンケートを実施し「現在のまちづくりで課題になっていることは何ですか?」という問いに、半数以上の回答者が放置自転車・路上駐車・不法投棄車両が多いということ課題だと感じている結果が出ました。このまちの課題を解消すべく、地域の子どもからお年寄りまで200人以上の協力のもと、放置自転車などが多い場所を中心に、約3000株ものパンジーの花を植えました。このように、身近な地域課題の解決に向けた取り組みを通じて、“ひと”をつなぎ、地域コミュニティの再生を図っています。

●まちをつなぐ!

淡路・西淡路地域は、JR新大阪駅と阪急淡路駅に挟まれた位置にありますが、駅や駅周辺の買い物施設や、駅から距離のある地域の病院や福祉施設をはじめとする公共施設を結び便利で身近な移動手段の整備、また、高齢者や障がい者などの交通弱者に対する移動利便の向上が課題となっています。また、都市開発に伴う幹

